



～太陽と海と緑～観光文化のまち～

もとぶ

2019年

4月

卒業式



本部中学校



上本部中学校



本部高校



伊豆味中学校

旅立ちのとき、 未来へ踏み出す新たな一歩

目次

- 平成31年度施政方針 2～7
- 南米子弟研修生修了証授与式ほか 8
- 商工会がチャリティーダンスパーティーで
町内2団体へ寄付ほか 9
- 情報ひろば 10～11
- 北部農林高校が町へ米青葉の苗を譲渡 ほか 12

私たちの町

平成31年2月28日現在

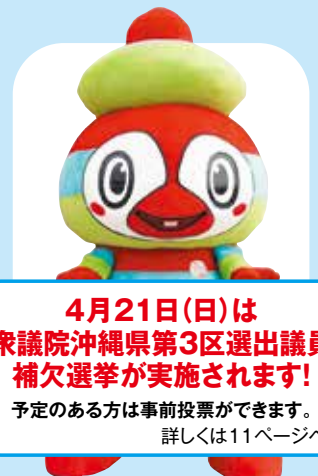
世帯数 6,310 世帯 (+5)

人口 13,200 人 (-1)

男 6,716 人 (-5)

女 6,484 人 (+4)

() 前月比



**4月21日(日)は
衆議院沖縄県第3区選出議員
補欠選挙が実施されます!**

予定のある方は事前投票ができます。
詳しくは11ページへ



ふるさとの美しい自然を愛しみどりの町をつくれます（本部町民憲章より）

平成31年度

施政方針

はじめに



平成31年第1回本部町議会定例会の開会にあたり、平成31年度予算案をはじめとする諸議案の説明に先立ち、町政運営の基本的な考え方と主要施策について、その概要を申し述べ、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

第1に、「町政運営に取組む決意について」申し上げます。

町政運営は、日々変化を遂げる社会経済情勢に、的確かつ迅速に対応せねばなりません。本町の限られた財源の中で町民にとって住みよい町づくり、魅力ある町づくりに取り組むことが私の責務であります。

このような中、私は、昨年9月

から町政を担わせていただいたいておりますが、町民の皆様との対話の中に、町づくりの重要な鍵があるものと捉え、町民一人ひとりと

の対話を重要視してまいりました。

現下の本町においては、少子高齢化に伴う人口減少の問題、厳しい地方財政への対応、農業・商工業・観光業等の産業づくりの構築、学校教育における教育環境の整備・学力向上への取り組み、医療・福祉・介護への対応、インバウンド対策等、課題は山積しております。これらの課題解決に向けて、町民及び関係機関の知恵と協力を仰ぎながら、本町の特性を最大限に活かし、町民の皆様と共に、課題解決に

着実に取り組んでまいります。

第2に、「平成31年度主要事業予算案について」申し上げます。

予算編成につきまして、新たな時代に即した、そして「日本一心豊かな我が町づくり」を実現するため、積極的かつ着実

な予算編成を行ったところであります。

それでは、平成31年度の一般会計予算の概要を申し上げます。

平成31年度の一般会計予算は、総額121億6千8百万円余りとなり、平成30年度当初予算から約38億8千万円の増額となっております。

平成31年度の主な事業としては、本部半島・伊江島エリア観光促進事業に21億4千万円余り、上本部小中一貫校校舎改築関連事業に18億8千万円余り、謝花第2団地新築整備事業に3億9千万円余り、満名川線道路整備事業に2億3千万円余り、瀬底島一周線道路改築事業に1億7千万円余りを計上しております。

一括交付金関連事業につきましては、防災施設機能強化整備事業、本部町学力向上学習支援事業、花いっぱい運動の推進事業、ハブ咬傷防止事業など18事業に3億5千万円余りを計上しております。

平成31年度主要施策の概要

次に平成31年度における主要施策の概要について申し上げます。

第1に、「まちづくりの取り組みについて」申し上げます。



私は、まちづくりの基本姿勢として、町民生活の豊かさを第一に据えて、融和（全ての町民が打ち解けて仲良く）・協調（全ての町民が譲り合って協力を）・個性（全ての町民が個性を大切に）を大事に「日本一心豊かな我が町づくり」を政治テーマにしております。

物の豊かさと同時に、この町に住む人々の心の豊かさを念頭に置いて、これからのまちづくりをしつかりと進めてまいりたいと考えております。

心豊かなまちづくりには、各行政区の活性化が必須であります。そのことから、平成30年度に行政区提案型の「こころ豊かなわがまちづくり推進事業」を

創設し、各行政区からの積極的な提案を頂いているところであります。

引き続き、平成31年度も様々な分野での新たな取り組みの展開をしてまいります。

もとぶ元気夕市におきましては、「本部町の農業を元気にするネットワークの会」が主催して、毎週土曜日に、本部町産業支援センターを核に開催しておりますが、平成31年度からは観光協会との連携を図り、伝統芸能等の魅力発信拠点として位置づけ、町民のコミュニケーションの場のみならず、県内外から観光客の誘客を図り、農林水産業と観光がリンクしたまちづくりに取り組んでまいります。

また、八重岳頂上を観光拠点としての新たな整備やハートソ公園の観光拠点としての機能強化を検討してまいります。

本部港を拠点とした、東京・大阪航路の貨物船の実証実験におきましては、平成30年度から新たに県内船会社に変更し、一段と集荷機能が向上しております。今後も引き続き北部地域をはじめ全県からの誘荷業務を支援し、本格的な運航に取り組んでまいります。

また、平成30年度に国が実施



した「沖繩観光の交通モードの多様化に向けた高速船実証実験」により、那覇港から本部港

渡久地地区への高速船の実証実験事業が行われました。その結果に基づき県内事業者の本格運航が展開できるよう調整してまいります。高速船が運航するには、発券所及び駐車場の確保等、様々な課題がありますが、平成31年度には、臨港道路に隣接する県有地の借用及び本部町浄化センターの用地の利活用なども検討を行い、これらの課題を一つひとつ解決し、本格運航ができるよう支援してまいります。

上本部飛行場跡地の利活用につきましても、今後、本町の振興を図るうえで重要となることから、民間の活力を取り入れながら引き続き検討してまいります。

本町には県内最大の観光拠点の海洋博公園があることから国営沖縄記念公園事務所や沖縄美ら島財団等との連携を強固なものにし、本町の活力に繋げたいと考えております。

これらのまちづくりを行うにあたり、情報発信は重要なツールであると考えます。「太陽と海と緑―観光文化のまち」の存在を高めるため、マスコミ等を

活用した様々な情報発信の強化を図ってまいります。

第2に、「産業の振興について」申し上げます。



1点目に、「農畜産業の振興」について、申し上げます。

平成31年度は、役場組織の機構改革により、生産振興班を生産マーケティング推進班に名称を変更し、販売戦略について、これまで以上に強化した施策を展開してまいります。

町産品の中でも特に、平成28年度に拠点産地の認定を受け、年間500t前後の生産量を誇る本部町産シークワーサーについては、青切用を「もとぶパワー酢みかん」としてホテルや飲食店等への積極的な活用を推進してまいります。また加工用についても、民間企業との連携のうえ

商品開発に積極的に取り組み、町全体で消費拡大に繋がるよう推進してまいります。

近年、生食用パイナップルとして贈答用で脚光を浴びている「もとぶかりゆしゴールド」については、苗の増殖配布による普及拡大を図るほか、台風等自然災害に強い栽培施設を導入し、単収向上や高品質化を目指します。

拠点産地として認定を受けている輪ギク、アセローラ、タンカンについては、引き続きJAや花卉農協等と連携し、その振興を図ります。

基幹作物であるサトウキビについては、単収の向上を図るため、引き続き優良種苗の増殖を行い生産の拡大に努めます。

肉用牛においては、「もとぶブランド牛」を推進してまいります。またハード事業としては、平成31年度も引き続き、国庫補助事業を活用し、新たな肥育用牛舎の整備をいたします。

肉用やぎについては、平成31年度は、「もとぶピージャー産地確立推進事業」により、ヤギ用の草地管理機一式の導入を計

画しており、粗飼料の自給率を高めることで農家の経営の安定化を支援してまいります。

カラス等の有害鳥獣による被害対策については、平成31年度も引き続き県補助事業を活用し、捕獲個体の買取及び他市町村との連携した広域駆除活動を行うことで、効果的な被害対策を実施してまいります。

農業団体の育成については、平成26年度に農業従事者が結束し「本部町の農業を元気にするネットワークの会」及び、青年農業者が組織した「青年農業者の会」について、今後も積極的に支援してまいります。

農業基盤整備については現在、瀬底ため池の改修事業、新里かんがい排水施設の整備事業及び伊豆味クカルビ地区の排水路整備に着手しております。

また、平成31年度から新たに伊豆味古嘉津宇・唐又地区の護岸整備および排水路整備事業にも着手するほか、具志堅地区のかんがい排水施設の事業化に向けた調査事業も着手してまいります。

そのほか、辺名地ダムの改修を見据えてのかんがい排水施設の事業化に向けても引き続き検討してまいります。

2点目に、「水産業の振興」について、申し上げます。

水産業の振興については、カツオ漁の活性化を図るため、平成31年度より新規カツオ漁を始める漁業者や若手漁業者を中心にカツオ漁の先進地へ漁業者を派遣し、新たな漁法の導入を図るなど水揚げ量の増加と漁業者の育成に力を入れてまいります。

マグロ養殖業については、引き続き県とも連携し、養殖業者を支援してまいります。また、漁業組合等と連携し、町内での販売体制づくりについて、検討してまいります。さらに観光業の中に漁業の要素を取り入れ、新たな水産振興の展開を図ってまいります。

豊かな漁場を保全するため、サンゴを食害するオニヒトデの駆除や漁の妨げとなるサメの捕獲についても、漁業組合等の関係機関と連携して取り組んでまいります。

赤土流出防止対策については、全県的な問題となっており、本町においても大きな課題であります。沖縄県をはじめ環境関連機関や農業関連機関、漁業関連機関等と連携し平成31年度も引き続き、取り組んでまいります。



きまりを守り互いに力を合わせて明るい町をつくります（本部町民憲章より）

3点目に、「森林の保全」について、申し上げます。

自然豊かな本町にとって、特に八重岳の森林地域は自然保護区に指定されるなど森林機能としても重要な位置づけがなされており、また、日本一早い桜まつりが開催されるなど貴重な財産でもあります。これまで、八重岳の森林資源の保全に向けて、ボランティア等を活用しながら八重岳桜の森公園を中心に、下草刈りや雑木の伐採、桜への施肥作業等を行っており、今後も積極的に実施してまいります。

町木であるフクギについては、平成27年9月に「フクギの里」宣言を行っており、今後も地域とともに保全、活用、創生に向けて取り組み、地域が主体的に行う活動に対し積極的に支援してまいります。

これまで町内全域に広がっておりました松くい虫被害については、これまでの防除の成果もあり、被害量が激減するなど、収まりつつありますが、引き続き必要に応じ伐倒駆除と樹幹注入を行い、松の保全に努めてまいります。

4点目に、「商工業の振興」について、申し上げます。

商工業の振興につきましては、特に出口戦略である販売戦略の構築とその展開が重要であると考えております。地域商社であるもとぶ産直株式会社が運営する「もとぶかりゆし市場」を拠点に地域特産品の販売展開を引き続き、支援してまいります。

販促活動につきましては「メイドインもとぶ産品成長産業化推進事業」を活用し、県内においては、大型ショッピングセンターや沖繩の産業まつり、桜まつり、毎週土曜日に行われている夕市での支援を引き続き、展開してまいります。また、県外においても青森県や神戸市などで販売プロモーションを引き続き支援してまいります。さらに、町内の観光拠点である海洋博公園内での対面販売を展開してまいります。

平成29年度より「もとぶ産業クラスター形成事業」により、商工会が中核となり製造業者、生産者等の関係者が連携し、特産品開発に取り組んでおります。今後も町産素材を活用し特産品開発を行うための支援を行ってまいります。

商工業への人材の確保については、「本部型就業意識向上支援事業」において職場見学や職

場体験、インターシップ等の本部型キャリア教育の推進を図り、町内産業への理解や興味を深め、将来的な雇用の確保に努めてまいります。

5点目に、「観光の振興」について、申し上げます。



取り組んでまいります。

本町の本部港は国際旅客船拠点形成港湾に指定されたことから、港湾のハード整備が進められております。本町としては、寄港へ対応するため観光協会、商工会、沖繩美ら島財団等を含む町内10団体により「本部港クルーズ促進協議会」を組織し、体制強化を図ってまいります。また、平成31年度は新たに行政組織において「クルーズ船受入推進班」を設置し、クルーズ客に向けた観光対応について重点的に取り組んでまいります。

さらに、観光地としての魅力を高めるため「花いっぱい運動の推進」を強化してまいります。民間との連携を図り、年始より開花を迎える「リュウキュウベンケイソウ」や「桜」、「洋蘭」、「ベゴニア」、「山ゆり」、「あじさい」などの花をテーマとしたイベントの開催により、国内外の観光客の誘客を図ってまいります。

平成30年度より取組んでいる「本部町観光振興基本計画策定事業」については、町民アンケートや事業所アンケート等の結果を踏まえ、今後の観光振興に資する計画を平成31年度で策定いたします。

第3に、「生活環境の整備」について申し上げます。



写真提供：株式会社 国建

1点目に、「道路整備」について、申し上げます。

住民の生活利便性を図るため、道路整備は極めて重要であります。基幹道路として位置づけられている国道449号及び県道名護本部線については早期完了を目指し引き続き県への強い要請を行い、その整備促進を図ってまいります。

町道整備につきましては、北部振興事業の整備路線として、平成29年度から5年間を目標に



思いやりの心でいたわり助けあって住みよい町をつくります（本部町民憲章より）

石川謝花線の石川～豊原区間、瀬底島一周線、嘉津宇具志堅線、満名川線の4路線を、地域の理解を得ながら取り組んでまいります。

健全本部落線については、改良工事、用地買収、物件補償等を重点に取り組み早期完了を目指してまいります。

長寿命化修繕事業で整備しております伊野波橋については、平成31年度より上部工架設施工を実施してまいります。橋りょうの長寿命化については、引き続き優先度の高い橋りょうから継続して整備し、住民の安全・安心の確保及び利便性向上に努めてまいります。

2点目に、「住宅政策」について、申し上げます。

平成30年度は北部振興事業を活用し、子育て支援住宅として新里第2団地を整備しております。

平成31年度にも同事業を活用し、謝花地区において町営住宅の整備をおこない、今後も順次、子育て支援住宅を整備してまいります。

また、これまでに整備してきた町営住宅については快適な居住環境の維持及び、未納家賃の

徴収強化等、適切な管理に努めてまいります。

3点目に、「港湾整備」について、申し上げます。

港湾整備事業については、県事業として、本部港において杭打ち等工事が実施されており、2020年の運用開始に向け順調に整備を行っております。旅客ターミナルビル建設については現在、県と船社で調整しているところであります。

また港湾付帯施設の駐車場整備については本部港内において、沖縄県が約400台の立体駐車場整備を行っております。

今後とも、港湾の機能充実に努めるため、国・県と緊密に連携し、事業を支援してまいります。

4点目に、「満名川の整備」について、申し上げます。

満名川の整備につきましては、台風等による低地浸水被害地域の軽減を図るため、平成31年度は護岸根継ぎ工事の実施を計画していることとあります。事業実施主体である県に対して、予算の増大確保を図り、早期完了に努めるよう今後も引き続き要請してまいります。

第4に、「福祉・保健・衛生について」申し上げます。



1点目に、「福祉の充実」について、申し上げます。

我が町は、これまで以上に少子高齢化の進行が加速しております。また、生活スタイルも多様化し、核家族化が一層進行するなど地域における連帯感も薄れる傾向にあるのが現状であります。

こうした中、「全世代・全対象型包括支援体制」の構築が課題となっており、特に子供や子育て世代、老人や障がい者を含めた支援体制づくりが重要

となっております。

このようなことから、今後の福祉施策といたしましては、区長や民生委員・児童委員、社会福祉協議会など前線で福祉活動に従事されており関係者との連携による「地域共生社会」の構築を目指してまいります。

児童福祉につきましては、少子化の背景の一つである子育て世帯の経済的負担感の軽減及び支援の充実を図るため、「新生児祝い金の拡充」及び「公設学童クラブの新設」を推進してまいります。

さらに「子ども・子育てゆいまる基金」の創設を具体化し、安心して産み育てられる福祉の充実を図ってまいります。

子どもの貧困対策及び児童虐待の防止策につきましては、教育現場との情報共有や子どもたちとの関係作りを密にするなど、きめ細やかな支援体制を構築してまいります。

特に専門的な知識を有するスクールソーシャルワーカー、心の教室相談員、教育支援員などの拡充を図り、引き続き支援してまいります。

老人福祉につきましては、国が進める「地域包括システム」を推進し、要介護状態になつて

も、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう施策を展開してまいります。

また、老人クラブや地域住民が主体となつて実施しておりますゲートボール大会、もーあしび大会、ウォーキング、芸能活動など、このまちらしい生きがいづくりを継続的に支援し、元気でイキイキとしたカラダづくりにつなげてまいります。

障がい者福祉につきましては、障害者優先調達推進法に基づく安定した就労場所の確保に努めてまいります。

また、障害福祉サービス利用者の負担軽減及び充実を図るため、新たに町内に「指定特定相談支援事業所」が、平成31年度に開設され、きめ細やかな支援サービスに繋がってまいります。

2点目に、「保健・衛生」について、申し上げます。

保健事業につきましては、新たに「子育て世代包括支援センター事業」を実施し、既存の母子支援事業に加え、「産婦健康診査」や「産後ケア」、「新生児聴覚検査費用助成」などの事業を実施します。

この町で、安心して子育てができる環境づくりを目指し、妊



娠期から子育て期にわたる支援の充実を一層図り、細やかなサービスを提供してまいります。

また、特定検診をはじめ各種がん検診やインフルエンザ予防接種などの費用助成を継続実施いたします。

さらに、健康講話や健康教室等の住民向け講座の開催により町民の皆様の健康増進を図ると共に、保健指導の実施に努め、増加傾向にある医療費の抑制を図ってまいります。

特に、生活習慣病のうち、合併症により医療費の高騰につながる糖尿病の重症化予防を重点的に実施してまいります。

国民健康保険事業につきましては、平成30年度より都道府県が国民健康保険財政運営の責任主体となり、制度の安定化が図られつつあります。

しかし、主要な財源であります保険税の確保をはじめ保険給付の決定等につきましては引き続き市町村の役割となっております。

特に保険税の確保については、今後も滞納処分の実施、申告勧奨など、適正な課税に努めるとともに、納付相談、分納指導等を積極的にを行い、収納率の向上に努めてまいります。

北部地域基幹病院の整備につ

きましては、県、北部12市町村及び関係機関による協議が進められており、早期実現に向けて積極的な連携を図ってまいります。

環境衛生分野につきましては、引き続きごみの分別・排出方法の周知、啓発を図りながら、なお一層の減量化と資源化を推進してまいります。

外来種のタイワンハブ対策につきましては、拡大する生息域抑制のため事業実施体制の拡充を図り対策を強化してまいります。

第5に、「水道事業について」申し上げます。

水道事業につきましては、嘉津宇配水池に停電時でも安定して水が送れるよう非常用電源設備を設置し、平成31年度より本格的に稼働いたします。これにより、台風時にも断水することなく、安定した水供給体制が確立されます。

新浄水場の整備については、実施設計と用地買収を平成31年度も引続き推進してまいります。新浄水場は、並里にあります並里浄水場と笹川浄水場の機能強化をするものであり、平成

31年度は一部の工事にも着手いたします。

今後も安定した水の供給と水道事業経営安定のために、老朽管対策、漏水調査、未納対策など引き続き強化してまいります。

第6に、「下水道事業について」申し上げます。

公共下水道事業につきましては、平成30年度までに事業計画の見直しを進めてまいりました。その結果、これまでの整備を主とした事業から改築を主とする事業へと新たに転換していくことにしました。本町の公共下水道は、43年が経過し、各所で老朽化が進んでいる状況であります。

平成31年度においても、掘削せずに改築する管更生を実施する計画であります。平成31年度は新たに渡久地地内で、まーすや1前から桑江材木店までの間を改築いたします。また、改築の全体計画である『ストックマネジメント計画』の策定にも着手いたします。

下水道の接続率は平成29年度末現在で82.5%と少しずつ増加しております。平成31年度も引き続き接続率の向上に努め、

安定的な経営を目指してまいります。

第7に、「学校教育・社会教育・文化・スポーツの振興について」申し上げます。

1点目に、「学校教育」について、申し上げます。

学校教育においては、幼児児童生徒の発達段階を踏まえ、確かな学力とたくましい心と体、郷土愛に満ちた心豊かな人間性の育成に取り組んでまいります。

「学力向上元年」と位置付けた平成26年度からこれまで様々な施策を展開してまいりましたが、平成31年度は事業の見直し等も行いながら、「人間性」、「学び」、「自立心」の3つの力を「人間力」とし、心豊かな人材育成に努めてまいります。

「人間性」については、思いやり、正義感、郷土愛などを育み、「学び」については、知識・技能、思考力等を学び、「自立心」については、夢をもち、やり抜く力を育成してまいります。

学校教育の教材整備といたしましては、平成30年度までにタブレット等の情報機器の整備が完了しました。平成31年度では、児童生徒の情報活用能力及び学力の向上を図るため、タブレット等を活用したICT教育を推進してまいります。

本部つ子短期留学チャレンジ事業につきましては、町内の中



本町の教育基本理念は、ムトゥブンチュ氣質である『武本部』と称される「質実剛健」で「進取の気性」に富んだ「文武両道」の精神を人材育成の基本に掲げております。

未来を担う子ども達が、生まれ育った本部町に愛着を感じ、「ふるさと本部町」に誇りを持つ人材の育成を目標に、基本理念に沿った教育施策を、引き続き



「武本部」とは、進取の気性に富み、質実剛健で文武両道の町民性のことだよ！

高生が夏休みを利用して海外へ短期間留学し、生きた英語に触れ、異文化体験をする学習として一層の拡充を図ります。

学校施設整備につきましては、町内小中学校の耐震化事業を優先的に実施し、早期に耐震化を図ってまいります。

上本部小学校と上本部中学校の小中一貫教育校の整備につきましては、平成30年度から工事に着手しており、2020年度開校に向けて取り組んでまいります。

崎本部小学校につきましては、平成31年度をもって閉校となるため、2020年度の本部小学校への統合に向け、取り組んでまいります。

2点目に、「社会教育」について、申し上げます。

社会教育の振興につきましては、中央公民館で行っている、外国語講座等の諸事業を継続的に実施してまいります。また、各字公民館と連携した事業も併せて展開してまいります。

文化振興につきましては、本部町文化協会と連携し、もとぶ展や企画展など、展示企画の充

実に努めるとともに、文化活動に取り組みめるよう、その活動を支援してまいります。

解体が完了した中央公民館大ホールの敷地には、平成31年度から新施設の建築に着手し、機能強化のための施設整備を行うてまいります。既存の活用方法に加え、民泊やインバウンド等の対応も含めた施設整備を行い、2020年度完成に向け取り組んでまいります。

スポーツ振興につきましては、町民体育館、運動公園、各学校の体育館などを開放し、町民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりに努め、スポーツ推進委員や町体育協会との連携により、町民の健康や体力の維持向上に努めてまいります。

子ども会活動につきましては、町青少年健全育成協議会と事業の連携を図り、各公民館を拠点とした活動を地域、保護者とともに実施し、子ども会の育成に積極的に取り組んでまいります。

3点目に、「学校給食」について、申し上げます。

学校給食は、食事を通して、生活習慣や食べ物に関する知識を身につけ、健康な体をつくる

など、極めて重要なことであります。食材については、町内業者と連携し、地元の新鮮で安全な食材を優先して使用を進めてまいります。

さらに、会食や当番活動を通して、社会性を養うことなどをねらいとし、教育活動の一環として取り組んでまいります。

就学援助制度では、引き続き子どもの貧困対策の一環として、幼稚園児から中学3年生までの受給対象児童生徒に対し、給食費の無償化を実施いたします。

第8に、「自主財源の確保と行財政改革の推進について」申し上げます。

地方自治体は、自らの判断と責任において、効率的・安定的な行政運営が求められております。本町においては、町民本位の行政運営を基本とし、常に親切丁寧な対応に徹し、質の高い行政サービスの提供に努めてまいります。

平成31年度においては、役場組織を11課2局体制から、9課2局体制に再編を予定しております。業務の関係上、つながりの強い課を統合することにより、課の一層の体制強化を図るとともに、役場全体の組織の強化に

つなげてまいります。

財源の確保につきましては、町税をはじめとする自主財源の確保に取り組んでまいります。平成28年度から強化に取り組んでいる「ふるさと納税」の応援寄附につきましては、平成30年度中において、1億7千万円を超える寄附を見込んでいくところであり、平成31年度におきましても、多方面への応援寄附の協力を働きかけ、魅力ある町づくりに有効活用を図ってまいります。

取納率向上の取組については、平成30年5月に、町税の徴収向上対策に係る職員派遣要綱を策定しております。

平成30年8月からは、同要綱に基づき、本町、名護市、今帰仁村の3市町村間で、税務職員の相互併任を行い、共同で徴収業務を実施することにより、取納率の向上に努めております。

ちなみに、平成25年度から平成29年度の間取納率（現年度分+過年度分）の状況は、町民税が95.4%から97.8%（2.4%増）、固定資産税が84.1%から92.2%（8.1%増）、軽自動車税が91.3%から94.8%（3.5%増）

となっており、金額にして

8億9千万円余りから11億6千万円余りと約2億7千万円の税収額の増加が図られております。

しかしながら、税の公平性の観点からも、滞納処分をはじめとする徴収事務をしっかりと行い、自主財源の確保と取納率の向上に引き続き努めてまいります。

おわりに

平成31年度の町政運営にあたり、主要施策の概要につきましては、重点事業と新規事業を中心に、その一端を申し述べました。

施策の推進にあたりましては、全職員連携のもと、総力を上げて施策を遂行してまいります。また、町民の皆様と共働の町づくりに取り組み「日本一心豊かな我が町づくり」を実現すべく、全力で取り組んでまいりますので、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。平成31年度の施政方針いたします。

平成31年3月7日

本部町長 平良武康



伊豆味のクメノサクラは観に行ったかな?そろそろテッポウユリが咲きはじめるね。

県勢2人目の快挙!
比嘉真美子プロが
ダイキンオーキッドレディスで優勝!!

3月7日〜10日に県内で開催された「第32回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント」において、町出身の比嘉真美子プロが県勢で15年ぶり2人目となる優勝(通算5勝目)を果たしました。

11日に開催された祝賀会には町内外から300人が駆けつけ、盛大に勝利を祝いました。平良町長は「比嘉真美子プロは町の誇りであり、わが町に勢いの風を入れてくれる。この勢いを町の活性化につなげたい」と勝利を喜びました。比嘉真美子プロの母である彰子さんは「優勝の余韻がまだ冷めていない。地元で優勝できて良かった。これからも応援をお願いします」と話しました。



勝利を祝いカー！

世界に広がるムトブンチュの輪
南米子弟研修生修了証授与式

本町では、南米に渡った町出身者の子弟を研修生として受け入れ、人材育成や南米諸国との友好親善を図る事業を平成7年から行っています。平成30年度はブラジルから、ドミンゲス 具志堅 ナージャさんとラパ 安慶名 サレス スエレンさんが沖縄を訪れました。2人は昨年9月から、日本語講座や三線教室など沖縄の伝統、文化を学びました。

2月25日で研修期間を終えることから同15日、2人の修了証授与式が町立博物館ギャラリーで行われ、親戚や友人、関係者など約50人が参加しました。具志堅さんは「研修は一度きりなので、我慢や妥協をせず、様々な事にチャレンジした。帰国後も沖縄の研究を続けたい」と、安慶名さんは「沖縄は人生でとても特別な場所、また帰ってきたい。支えてくれた全ての人に感謝したい」と研修を振り返った感想を述べました。



修了証を受け取った安慶名さん(左から2番目)と具志堅さん(同3番目)

新たなもとぶの特産品が登場
シークワサーフィナンシエ商品発表

2月12日、本部町役場でシークワサー加工商品「シークワサーフィナンシエ」の商品発表が行われました。同商品は一般財団法人沖縄美ら島財団、株式会社エーデルワイス沖縄、もとぶウェルネスフーズ株式会社、もとぶ産シークワサー生産・消費拡大推進協議会の4者で共同開発しており、町産シークワサーを原料として使用しています。シークワサーの自然な酸味や香りが特徴で、海洋博公園内で販売されています。

平良町長は「シークワサーは町の中心品目であり年間500トンの生産がある。シークワサーフィナンシエは町産シークワサーに新たな付加価値を付けてくれる商品である。今後大きく成長することを願う」とPRしました。



新商品のシークワサーフィナンシエ

プロの技術を間近で体験
ヴァンラーレ八戸と
本部JFCがサッカーで交流

2月17日、町でキャンプを行っている青森県のプロサッカーチーム「ヴァンラーレ八戸」が町内交流の一環としてサッカー教室を開き、本部町ジュニアサッカーチーム(本部JFC)の子どもたち30人が参加しました。基礎的なドリリングや試合形式の練習などを行い、楽しく交流しました。本部JFCキャプテンで本部小学校6年の棚原吾郎君は「サッカーがもっと楽しく思えた。プロの選手は力もスピードも全部凄かった」と話しました。ヴァンラーレ八戸キャプテンの須藤貴郁選手は「子どもたちが一生懸命サッカーの練習に取り組んでいて良かった。自分たちが活躍することで、子どもたちに夢を与えたい」と話しました。



プロの選手たちとの練習を楽しむ子どもたち



4月15日～5月14日は「みどりの月間」です。森林や緑化への理解と関心を高めよう。

本部小音楽部が全国大会の結果を報告



報告を行った音楽部の皆さん

2月16日に神奈川県で開催された第18回マージングステージ全国大会（主催・一般社団法人日本マージングバンド協会）へ出場した本部小学校音楽部が2月21日、本部町役場で大会結果の報告を行いました。今大会では優秀賞を受賞し「周りの応援のおかげで全国大会では最高の演技ができました」とお礼の言葉を述べました。報告を受けた仲宗根教育長は「全国の実力を知り、もっと上手になろうという意欲がわいたと思う。今後も一生懸命頑張ってほしい」と激励しました。

商工会がチャリティーダンスパーティーで町内2団体へ寄付

2月8日、第37回本部町商工会女性部チャリティーダンスパーティーが本部町会館で開催されました。この取り組みは、パーティー収益による地域福祉への貢献を目的としており、ドレスやスーツで身を包んだ多数の商工会員らが、ダンスによる交流を楽しみました。

今回は、「子ども食堂おせっ会なおばちゃん達」と「本部小学校音楽部」の2団体へ寄付が行われ、子ども食堂の仲田優子さんは「多くの子どもに、本部町で育つて良かったと思ってもらえるように頑張りたい」と話しました。



華麗なダンスを披露する参加者たち



施設の外観

水道管理センターに非常用発電設備が導入されました

平成31年3月、一括交付金を活用して、字謝花の本部町水道管理センターに非常用発電設備を整備しました。これにより、上本部エリアの停電による断水の恐れが解消されました。（ただし、個別に増圧ポンプ式により給水されているところを除きます）

認知症を学ぼう 認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族を温かく見守る認知症サポーターの養成を目的に2月21日、認知症サポーター養成講座（主催・町地域包括支援センター）が本部町役場で開催されました。約30人が参加し、認知症の症状とその原因や認知症の方の行動原理、「驚かせない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」を基本とした接し方について学び、理解を深めました。講師で名城大学の永田美和子教授は「認知症は個人の一部であり、誰にでも起こり得る。否定せず温かく見守ってほしい」と話しました。



講座の様子

ごみ出しのルールとマナーについて

ごみ出しの時間を守りましょう

- ごみは朝8時から収集しています。
- 朝8時までにごみ出しを行わないと収集されない恐れがあるためごみ出し時間を守りましょう。

※収集時間は天候や交通事情により一定ではありません。

※ごみ収集車の音楽はごみ収集の合図ではなく、**危険防止**のために流しています。音楽を聴いてからごみ出しを行うのではなく朝8時までにごみ出しを行ってください。

決められた場所へ

ごみ出しは決められた場所に出してください。場所の管理は利用されている皆さんで行って頂いております。1人がルールを守らないと他の方に迷惑がかかってしまいます。気持ちよく利用できるようマナーを守り正しく出しましょう。

また、ごみがカラスやネコ等に荒らされると、近隣の方の迷惑になります。カラスよけネットやケージを活用し、清潔な環境に保ちましょう。

お問い合わせ 本部町健康づくり推進課 TEL.47-5602

粗大ごみの出し方

- ① 本部町役場保険予防課へ電話予約をする。（1回の受付につき1世帯4点まで、5点以上の場合は環境美化センターへ直接持ち込むことも可能です。その際は事前連絡が必要です）
- ② 粗大ごみ処理券を購入する。（粗大ごみ1個又は1束につき、町が指定する300円の粗大ごみ処理券を販売店【スーパー・コンビニ等】で購入してください）
- ③ 粗大ごみ処理券を粗大ごみに貼る。（粗大ごみ処理券にお名前、受付番号を記入し、粗大ごみの見やすいところに貼り付けてください）指定された場所に出してください。（指定された日の朝8時までに、指定された場所へ粗大ごみを出してください）

収集日を守って

収集日は地区によって異なります。ごみ出しの日を守らないと、ごみの散乱につながります。決められた収集日にごみ出しをするようお願いします。

分別をしましょう

ごみの中には資源となるもの（ペットボトルや紙類等）がたくさんあります。資源を有効活用するためにもごみの分別にご協力をお願いします。



毎週土曜日16時～19時はもとぶ元気夕市！もとぶの旬の野菜や果物が盛りだくさんだよ。

平成31年度 住民健診が4月から始まります！

- ①本部町役場から、4月に「健診通知書・がん検診受診券」をお送りします。
- ②届いた「健診通知書・がん検診受診券」と「保険証(受診券)」を持って、お好きな会場へお越しください。
- ③待ち時間の少ない予約制健診を準備しました。お急ぎの方は是非ご利用ください。

健診日		健診会場	備考	受付時間
月	日			
4	10	水	瀬底集落センター	8時30分 ～ 10時30分
4	11	木	豊川公民館	
4	12	金	本部町役場	
4	13	土	本部町役場	
4	15	月	伊豆味公民館	
4	16	火	谷茶公民館 送迎あり(下表参照)	
4	17	水	崎本部公民館	
4	18	木	ウェルネスセンター(もとぶ元気村:浜元410番地) 予約制(TEL.47-5602)	
4	19	金	町民体育館 送迎あり(下表参照)	
4	22	月	備瀬公民館	
4	23	火	健堅公民館	
4	24	水	ハーソー公園 送迎あり(下表参照)	
4	25	木	地域福祉センター(焼肉もとぶ牧場裏) 午後に婦人科検診実施します(予約制)	
4	26	金	伊野波公民館	
6	16	日	本部町役場 予約制(TEL.47-5602)	
8	18	日	本部町役場	
10	6	日	本部町役場	

予約受付は4月1日(月)から

■送迎時刻表

日付	発車時刻			行き先
	8時	8時10分	8時20分	
4/16 火			辺名地公民館 発	谷茶公民館
4/19 金	野原公民館 発	浦崎公民館 発	浜元公民館 発	町民体育館
	古島公民館 発	大堂公民館 発		
4/24 水	謝花公民館 発	北里公民館 発	嘉津宇公民館 発	ハーソー公園
	新里公民館 発	具志堅公民館 発		

※帰りの各公民館行きの便は、健診終了後に発車します。

予約/連絡先 本部町健康づくり推進課 TEL.47-5602

風しん予防接種費用の一部助成について

妊婦の風しん感染を予防し、産まれてくる赤ちゃんを風しんから守るため、次のとおり予防接種費用の一部を助成します。

1. 助成対象者

接種日に本部町に住民登録がある方で次の方

- (1)19歳～50歳未満の女性で、妊娠を予定又は希望している方(妊婦は接種できません)。
- (2)19歳～60歳未満の男性で、妊娠を予定又は希望している女性の夫(パートナー)、または妊娠している女性の夫(パートナー) ※事実婚も含みます。
- (3)(1)または(2)に該当する方で、風しんワクチンの予防接種を受けていない方(過去に風しんにかかったことがある方は対象外です)。

2. 助成対象の接種期間

2019年4月1日～2020年2月29日までに接種した分

3. 申請期間

2019年4月1日～2020年3月31日

4. 助成額

麻しん風しん混合(MR)ワクチンまたは風しんワクチンのいずれかを接種した場合上限4,000円を助成します(一人1回限り)。
※接種費用は医療機関によって異なりますので、医療機関へお問い合わせください。

5. 助成方法

- (1)下記の指定医療機関に電話予約します。
※指定医療機関以外での接種は全額自己負担になります。
もとぶ記念病院 TEL.51-7007
もとぶ野毛病院 TEL.47-3001
やまだクリニック TEL.47-6660
- (2)医療機関窓口で受付し、予診票を記入後、問診を受けてから接種します(医療保険証を持参)。※母子手帳がある方は、予防接種履歴の確認のため持参してください。
- (3)接種後、医療機関で接種費用を全額負担し、領収書と予防接種済証を受け取ります。
- (4)次の①～⑤を持参して、保険予防課へ申請してください。
①申請書(医療機関又は保険予防課で配布)
②予防接種済証
③予防接種代金の領収書(原本)
④通帳またはキャッシュカードの写し
※被接種者と口座名義人は同一であること。
⑤印鑑(被接種者および届出人)

お問い合わせ 本部町健康づくり推進課 TEL.47-2103

柑橘農家の皆さまへ カンキツグリーンング病持ち込み診断のお願い

沖縄県ではカンキツグリーンング病まん延防止のため、無料の持ち込み診断を実施しております。

現在、カンキツグリーンング病の治療法はなく、一度感染すると樹が枯れてしまうほか、放置すると他の樹に感染する場合もあるため、速やかな伐採処分が必要となります。

葉の主脈、脈間又は全体が黄化する症状がみられる樹を発見した際には、下記までご連絡ください。

平成30年度に本部町全域で行った調査では、1本の陽性樹が発見されました。この罹病樹については、既に伐採済みです。

お問い合わせ 本部町農林水産課 TEL.47-2412



【町県民税・軽自動車税・固定資産税・国民健康保険税】の納付は便利な口座振替がおすすめです。

ご寄付 本部町ちゅらまちづくり応援基金
 ありがとうございます。平成31年1月16日～31年2月15日分
 件数278件……………総額6,901,000円
 ●詳細は町ホームページに随時更新予定です。

4・5月の町内行事・イベント情報

日程	行事・イベント	場所
4月 8日	本部・上本部中学校、本部高校入学式	
4月 9日	本部・上本部・瀬底小学校、伊豆味小中学校入学式	
5月 4日	瀬底島ピージャーオーラサイ	瀬底島ナカタ商会内

●町内イベントは町ホームページのイベントカレンダーでも確認できます。

平成30年度 夜間納付相談日について

4月は後期高齢9期（平成31年4月1日納付期限）未納の方に督促料100円が発生します。

納付月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
固定資産税		○ 1期		○ 2期					○ 3期		○ 4期	
町県民税			○ 1期		○ 2期		○ 3期			○ 4期		
軽自動車税		○										
国保税				○ 1期	○ 2期	○ 3期	○ 4期	○ 5期	○ 6期	○ 7期	○ 8期	
後期高齢				○ 1期	○ 2期	○ 3期	○ 4期	○ 5期	○ 6期	○ 7期	○ 8期	○ 9期

4月の夜間納税相談日 **平成31年4月25日(木)** 午後5時30分～7時30分
 ※毎月25日実施（25日が休日であれば翌平日）
 ※納税相談の際は、事前に電話連絡をお願いします。
 相談できる税
 固定資産税・町県民税・軽自動車税・国保税・後期高齢者医療保険料
お問い合わせ 健康づくり推進課 TEL.47-2701 住民課 TEL.47-5629

上下水道課から2つのお知らせ

①水道利用者の利便性向上のため、平成31年10月から水道料金の口座振替等が、下記のとおり変更となります。

	口座振替日	口座振替ができなかった場合
現在	毎月 10日※	納付書が届く
平成31年10月から	毎月 15日※	月末に再度、口座振替※

※口座振替日が休日の場合は、翌営業日になります。また、納期限日を過ぎたものは口座振替を御利用できません。

②水道の「用途に変更がある場合」、又は「現在、実際の用途と異なっている場合」は、役場にて手続きを行う必要があります。必ずお手続きくださいますようお願い致します。

- 主な用途
- 家事に水道を使う……………「一般用」
 - 仕事、又は、仕事・家事の両方に水を使う……………「営業用」

お問い合わせ 本部町上下水道課 TEL.47-3044

衆議院沖縄県第3区選出議員補欠選挙

大切なあなたの一票を!みんなそろって投票しましょう。

【投票日】平成31年4月21日(日)
【投票時間】午前7時～午後8時



期日前投票

【期 間】平成31年4月10日(水)～平成31年4月20日(土)
【時 間】午前8時30分～午後8時
【場 所】本部町役場 町民ロビー（本部町役場内1階）
 投票日に仕事や冠婚葬祭、旅行、レジャーなどの予定がある方は、事前に投票することができます。

※投票には投票所入場券（入場券が無い場合は身分を証明できるもの）をお持ちください。

お問い合わせ 本部町選挙管理委員会事務局 TEL.47-2358

平成31年度 乳がん・子宮がん 集団検診のお知らせ

- ①本部町役場から、4月に「健診通知書・がん検診受診券」をお送りします。
 - ②届いた「健診通知書・がん検診受診券」を確認して、「助成対象」と書かれた検診を確認します。
 - ③乳がん検診ご希望の方はご予約のお電話をします。(TEL: 47-5602)
- ※子宮頸がん検診は予約は要りません。

実施日	会場	実施される検診	予約	検診受付時間
4月 25日 木	地域福祉センター (町産業支援センター裏)	乳がん検診	必要	午後2時～午後3時
		子宮頸がん検診	不要	
6月 6日 木	地域福祉センター (町産業支援センター裏)	乳がん検診	必要	午後2時～午後3時
		子宮頸がん検診	不要	
7月 18日 木	本部町役場	乳がん検診	必要	①午前9時～午前10時
				②午後1時～午後2時

予約受付は4月1日(月)から

《注意事項》

子宮頸がん検診は直近の生理から3日以上経過していなければ受診する事はできません。

予約/連絡先 本部町健康づくり推進課 TEL.47-5602

本部警察署からのお知らせ

平成30年の沖縄県内の飲酒運転検挙者は2,222人、その内、本部町民は22人で、前年(12人)と比べ約2倍に増えています。本部警察署では、今後、交通事故防止を目的とした交通違反の指導取締り、各種取組を強化するとともに、飲酒運転の指導取締りを徹底します。町民の皆さまには、家庭、職場及び地域で運転する人、運転しない人、飲酒する人、飲酒しない人それぞれの立場で、飲酒運転根絶に向けて取り組んでいただきますようお願いいたします。

お問い合わせ 本部警察署 TEL.0980-47-4110

第32回本部町駅伝競走大会

第32回本部町駅伝競走大会(主催・町体育協会)が3月3日、町運動公園グラウンドを発着点に開催され、浦崎交差点や渡久地北交差点を経由する10区間26キロのコースで、競われました。町内各区から5チームが参加し、渡久地チームが1時間51分11秒で優勝を果たしました。なお、今大会の記録は第29回やんばる駅伝大会代表選出の参考となります。本町は4年ぶりの優勝を目指していますので町民の皆様のご協力をよろしくお願い致します。



優勝した渡久地チーム

在来野菜の普及拡大を目指して 北部農林高校が町へ米青菜の苗を譲渡

2月26日、本部町役場で沖繩在来野菜である米青菜(メーオーパ)の苗の譲渡式が行われました。メーオーパは北部地域で主に栽培されていた在来野菜で、味はレタスに近く、炒めると米の香りがします。しかし、生活の変化等により栽培が減少し、今ではほとんど知られていない作物です。現在は主に北部農林高校で栽培されており、病害虫の被害が少なく栽培が容易で、葉野菜の少ない夏場に収穫できることから様々な利用に期待されています。今回の譲渡に平良町長は「観光振興において食文化は重要であり、見たことも聞いたことも味わったこともない食が最大のサバイブとなる。今後、観光商品として広げていきたい」と意気込みを話しました。その後の試食会では、メーオーパを使った炒め物やサラダなどが振る舞われ、参加者から「クセが少なく食べやすい」、「いろいろな料理で使えそう」といった感想が寄せられました。



喜屋武勝校長(右)から苗の譲渡を受ける平良町長

たくさん野菜が採れました! 風のお保育園と 上本部幼稚園で 収穫体験

昨年11月に行われたわくわく農業体験(主催・町農業委員会、町青年農業者の会、風のお保育園、上本部幼稚園)で植付けた野菜の収穫体験が、2月23日に風のお保育園で、25日に上本部幼稚園で行われました。じゃがいも、人参、大根、玉ねぎなどの野菜を保護者や農家の皆さんと一緒に収穫しました。風のお保育園では、収穫した野菜を使った豚汁が振る舞われ、一家団らんを楽しみました。



大きな大根が採れました!

本部中学校の生徒が観光客へ町をPR

2月22日、授業の一環として本部中学校1年生が海洋博公園内で、観光客に向けたPR活動を行いました。この取り組みは、本部町の活性化について調べたことを発信することで、将来の本部町について考える態度を育成することなどを目的に実施しており、生徒たちそれぞれが調べた町の観光地やお勧めの場所を紹介し、観光パンフレットの配布を行いました。日本人だけでなく外国人にも積極的に話しかけ、英語で話す場面もありました。同1年の崎濱こころさんは「アセローラなど町の特産品の紹介をした。外国人に英語で説明するのは難しかった」と話しました。



PR活動をする生徒たち

第6回ミニわくわくワーク開催しました

2月23日、町内産業のPR及び人材育成を目的に「グッジョブもとぶ第6回ミニわくわくワーク」(主催・本部町グッジョブ連携協議会)が開催されました。町内の5企業(アセローラフレッシュ、山城豆腐店、誠もち、FMもとぶ、かりゆし市場)が出展し、各企業の特徴を活かした体験が実施され、将来を担う児童55名が貴重な体験をおしチャレンジ精神を育みました。ご協力下さった企業の皆様ありがとうございました。



もちづくり体験を楽しむ子どもたち